

## 平成26年度 第2回教育研究評議会議事録

日 時 平成26年5月21日（水）14:30～17:38  
場 所 事務局大会議室、総合研究棟10階会議室  
出席者 伊東、石井、碓氷、浅利、前田、柳澤、木村、東郷、中野、鈴木、  
今野、寺村、平岡、梅澤、谷、菅野、酒井、小西、藤井、青山、  
佐古、中山、糠谷、河合、鳥山、永津、渡邊、中村、三村、高松  
の各評議員  
欠席者 増田、朴、塩尻、星野の各評議員  
陪席者 鈴木、櫻本の各監事  
佐藤、杉山の各学長補佐  
村井博士キャリア開発支援センター特任教授

### I 議事録の承認について

平成26年度第1回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

### II 審議事項

- 1 国立大学法人静岡大学教職員人事評価実施規程及び教員及び部局等の長の人事評価実施要領の一部改正について
- 2 教員の処遇（昇給・勤勉手当）の決定に係る指針及び部局等の長の処遇（昇給・勤勉手当）の決定に係る指針の一部改正について

東郷委員から、前回本会議において説明し各部局に持帰り検討することとした、標記規程等の一部改正について、資料1及び資料2により、事前には特段の意見等は無かった旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。ただし、55歳昇給停止措置における昇給候補者決定に関する執行部の見解については、改めて示すこととした。

（審議事項1、2に関し意見交換で出された主な意見）○委員 △執行部  
○教員の処遇（昇給）の決定に際し、昇給停止となった55歳以上の者とそれ以外の者との統一的な評価の基準及び方法を策定していただきたい。

△本審議事項は、評価方法についてアンケートを実施した上での改正である。昇給停止となる55歳以上の者について、処遇への反映の評価方法は、国の指針の範囲内において改めて検討する必要があるが、現時点では、55歳以上の者についてのA、B評価は昇給停止の中での昇給であり、年齢に関係なくこの指針に基づいて評価して頂きたいと考えている。

○昇給に関する事項において、勤務成績がやや良好でない者（特に減給処分、戒告処分、訓告等）についても、昇給させることは適切である

のか。

△勤務成績が良好でない者の処遇は、昇給幅を抑えているということである。

△懲戒処分等を受けたことと、昇給幅が抑えられることは連動していないと考えるべきである。

### 3 総務部及び企画部の再編に伴う関連規則等の一部改正について

前田委員から、広報室が企画部から総務部に移管されることに伴う、標記関連規則の一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### 4 平成26年度スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」について

鈴木委員から、平成26年度スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」の申請内容について、資料4により中間報告及び説明があり、審議の結果、現段階の原案について承認した。

なお、議長から申請書案を5月23日に各部局長に送付すること及び意見がある場合は同月26日朝まで受け付ける旨の発言があった。

(意見交換で出された主な意見) ○委員 △執行部

○BMVプログラムの対象国と選定された経緯を確認したい。また、協定校になるべく負担をかけないように対応を考慮した検討を進めていただきたい。

△モンゴルは静岡県との関係が深いこと、また、ブラジルは日系人も多いことから日本語の教育に食い込むことを想定している。V4（ヴィンシェグランド4ヶ国：スロバキア・チェコ・ハンガリー・ポーランド）は、主に研究を対象に検討されており、各々の国の特徴にあわせたプログラム設計を行いたい。

今後、協定校には丁寧に説明し、理解を得ること及び協力いただけるように努力していきたい。

○地元企業のニーズに合った、文科系の観点からの人材の育成を盛り込んでいただきたい。

### 5 平成26年度大学教育再生加速プログラムについて

石井委員から、平成26年度大学教育再生加速プログラムへの申請について、資料5により中間報告及び説明があり、審議の結果、現段階の原案について承認した。

なお、同委員から、今後、申請書の骨子部分について各部局長に送付すること及び意見がある場合は早急に連絡をいただけるよう依頼があった。

### 6 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

東郷委員から、平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）及び今後のスケジュールについて、資料6により説明があり、各部署に持ち帰り検討を行った上、次回本会議において審議することとした。

なお、同委員から、標記報告書（案）を評議員に送付し意見がある場合には、6月4日までに、事務局評価担当へ連絡するよう依頼があった。

また、議長から、役員会においてもチェック・修正を行っていく旨の発言があった。

#### 7 藤枝市との包括連携協定の締結について

木村委員から、本学と藤枝市との包括連携協定の締結について、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 8 中国科学院新疆生態地理研究所（中華人民共和国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記大学間交流協定の更新について、資料8により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 9 オブダ大学（ハンガリー）と創造科学技術大学院とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について

鈴木委員から、標記特別プログラム覚書の締結について、資料9により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### Ⅲ 報告事項

#### 1 企画戦略会議報告

議長から、平成26年度第2回企画戦略会議（H26.5.7開催）について、資料10により報告があった。

#### 2 独立行政法人通則法並びに学校教育法及び国立大学法人法の一部改正について

前田委員から、独立行政法人通則法並びに学校教育法及び国立大学法人法の一部改正の概要について、資料11により報告があった。

なお、議長から、今後、学校教育法の一部改正を受けた教授会の位置付けについて、ガバナンス検討WG等において慎重に検討していく必要がある旨の発言があった。

#### 3 平成28年度学士課程教育改革・組織改革の取り組みについて

浅利委員及び石井委員から、平成28年度学士課程の教育改革・組織改革の取り組みに関し、各学部との事前ヒアリングの実施及びグローバル改革推進機構で検討されている教育特任教員の取扱いについて、資料12によ

り報告があった。

なお、議長から、任期満了後、学部等の所属とする教育特任教員については、改革に対する必要性が主要な判断材料となる旨の発言があった。

(意見交換で出された主な意見) ○委員 △執行部

○教員組織の在り方について、議論ができる余地を残して欲しい。また、教員のエフォートに関し、教育・研究・管理・運営面についての評価方法について議論を進めていただきたい。

△各教員に与えられたミッションに応じて評価する仕組みを策定することが課題であることは認識している。課題を一つ一つ検討し決定していきたい。

#### 4 創造科学技術大学院・電子工学研究所・グリーン科学技術研究所のサブコア教員の欠員補充・交替又は追加に係る取扱いについて

碓氷委員から、標記部局のサブコア教員の欠員補充、交替又は追加に係る取扱い及び平成26年度における標記部局の運営体制について、資料13により報告があった。

(意見交換で出された主な意見) ○委員 △執行部

○研究所の在り方、サブコア教員の制度について、検証を行うことが必要である。

△PDCAサイクルを実施する。

#### 5 学長補佐室の運営について

議長から、前回本会議で承認された静岡大学学長補佐室規則に基づく、学長補佐室の具体的な構成員、平成26年度の調査事項とチームの設置について、資料14により報告があった。

#### 6 平成26年度会計監査人の選任について

前田委員から、本学の平成26年度における会計監査人を有限責任監査法人トーマツの選任を文部科学大臣に求めたことについて、資料15により報告があった。

#### 7 消費税率の引上げに伴う消費税の円滑かつ適正な転嫁について

前田委員から、消費税率の引上げに伴う消費税の円滑かつ適正な転嫁について、資料16により報告があり、教授会等において教職員に周知するよう要請があった。

#### 8 静岡大学組織及び職名の英語表記に関する規程の一部改正について

前田委員から、広報室が企画部から総務部に移管されることに伴う標記規程の一部改正について、資料17により報告があった。

**9 博士課程学生及びポストドクのキャリアパスに関するアンケートの実施について**

村井博士キャリア開発支援センター特任教授から、博士学生及びポストドクの多様なキャリアパスに関する教員の意識や理解のための、標記アンケートの実施について、資料18により協力依頼があった。

なお、5月23日（金）に実施される、平成26年度博士人材キャリア創造プログラム第1回セミナーの開催について、席上配付資料により案内があった。

**10 平成26年3月卒業・修了者の進路状況について**

中野委員から、平成26年3月卒業・修了予定者の平成26年5月1日現在の進路状況について、資料19により報告があった。

**11 エスパルスとの協働事業について**

木村委員から、(株) エスパルスとの包括連携協定に基づく、本学のサッカー・ラグビーグラウンドを活用した地域貢献協働事業「SSコラボ」について、資料20により報告があった。

**12 掛川市教育委員会との協定書締結について**

梅澤委員から、本学教育学研究科、掛川市教育委員会及び日本電気株式会社との実証研究プロジェクトに関する協定書の締結について、資料21により報告があった。

**13 コメニウス大学（スロヴァキア共和国）との大学間交流協定の更新について**

鈴木委員から、標記大学間交流協定の更新について、資料22により報告があった。

**14 平成26年度静大フェスタの実施について**

柳澤委員から、平成26年度静大フェスタの実施について、資料23により報告があり、教職員への協力要請があった。

**15 附属特別支援学校40周年記念事業（校章制定）について**

梅澤委員から、附属特別支援学校40周年記念事業に伴う新校章の制定について、資料24により報告があった。

**16 平成26年春の叙勲について**

議長から、平成26年春の叙勲受章者について、資料25により報告があった。

#### 17 科研費獲得セミナーの開催について

確氷委員から、科研費獲得の意義、申請書作成のポイントの解説等を行う本セミナーの実施について、資料26により報告があり、特に若手教員の参加について要請があった。

なお、静岡地区の開催時間については、調整の上改めて通知する旨の発言があった。

#### 18 研究者倫理等研修会の開催について

確氷委員から、研究活動に従事する研究者の意識向上を図るための本研修会の実施について、資料27により報告があり、教員及び大学院生の多数の参加について要請があった。

以 上